

施策	4302 市民の健康づくり支援							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	健康の保持・増進のための健康相談や健康教育の実施し、疾病予防や健康づくりを支援する。							
成果指標	健康教室等の年間延参加者数...8,000人（平成29年度目標値）（現状値7,249人）							
目 標 達 成 状 況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	成果指標1 [人]	予定	7,500.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	
		実績	9,696.00	12,172.00				
	成果指標2 []	予定						
		実績						
	成果指標3 []	単位コスト						
		予定						
	成果指標4 []	実績						
		単位コスト						
	トータルコスト (千円)	予定	262,971	341,410	0	0	0	
実績		259,995	342,684			0		
内 部 評 価	貢献度	「健康づくり対策に対する市民満足度」を増やすためには、市民が様々な事業に参加し、自分に合った健康づくりの方法を見つける必要があるため貢献度は高い。						
	達成状況	身近な会場で健康づくりに関するイベントや、健診結果に応じた健康教室、個別相談等を開催したことで参加者が増え目標が達成した。						
	課題	今後、組織の再編によりイベントの集約や教室開催会場等の検討が迫られるため、参加者の増加に向けて更なる事業の充実と運営の工夫をする必要がある。						
	取組方針	定期的な健康増進計画推進会議の開催により、市民及び関係団体、各機関がタイアップ事業等の開催に向けて連携し、健康に対する意識の向上を図りたい。						
外 部 評 価	健康増進に関する取り組みは十分に実施されている。引き続き対応をお願いしたい。 成果指標である健康教室等の年間延参加者数は、既に平成29年度の目標値を大きく上回っている。次回設定時には、新たな高い目標値を設定することも必要であると考えられる。 健康教室等の参加者は、同じ市民の参加が多く見受けられる。参加しない市民への働きかけは難しいと思われるが、できるだけ気軽に参加できるよう、PR方法を工夫するなど引き続き積極的な働きかけをお願いする。 健康教育の更なる充実を図るとともに、（仮称）市民健康クラブなどを組織化し、市民組織主導による健康運動の活性化の推進を提案する。							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	270303	特定保健指導事業費（藤岡）				7,141	100	
	270304	特定保健指導事業費（都賀）				7,006	100	
	270305	特定保健指導事業費（西方）				1,829	100	
	270306	特定保健指導事業費（岩舟）				6,498	100	
	274201	市民健康まつり開催事業費（栃木）				2,825	100	
	274202	ふれあい健康福祉まつり開催事業費（大平）				666	100	
	274204	市民健康まつり開催事業費（都賀）				411	100	
	274206	ふれあい健康福祉まつり開催事業費（岩舟）				2,205	100	
	274301	健康増進計画推進事業費				19,511	100	
274401	健康教育、相談事業費（栃木）				19,321	100		

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	274301	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策														
事業名	健康増進計画推進事業費										主	4302	健康づくりの充実		市民の健康づくり支援													
担当部課 係・担当チーム名	保健福祉部 健康増進課 健康づくり担当 成人保健チーム						担当者	松長幸子					従															
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市健康増進計画推進部会設置要綱								事業期間	H24 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	11,057 千円												
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 栃木市健康増進計画に基づき、市民や関係機関団体・行政が一体となり市民の総合的な健康づくりを推進する。平成26年度からの10か年計画とし、中間年には計画の中間評価をする。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 栃木市健康増進計画の重点領域毎の目標達成に向けて、市民・関係機関・団体等と連携し推進する。																
	成果 施策目標	健康教室等の年間延参加者数...8,000人(平成29年度目標値)(現状値7,249人)																										
単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込																										
事業費・指標の推移	国庫支出金	0																										
	県支出金	0																										
	地方債	0																										
	その他特財	0																										
	一般財源	758	761																									
	事業費 a	758	761																									
	人件費 b	18,750	18,750																									
減価償却費 c	0	0																										
総事業費 a+b+c	19,508	19,511																										
結果指標 1	10.00	10.00	会議回数	策定部会・庁内実務者会議等の開催回数 H26目標値 10回										単位	回	事業の事後評価	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
結果指標 2	11.00	15.00	活動回数	普及啓発活動の実施回数 H26目標値 15回										単位	回		妥当	無	適正	有効	無	有						
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 健康増進計画推進部会・庁内ワーキング合同会議を開催し、各関係機関・団体と情報の共有化を図り、今後さらに健康づくりの情報発信をすすめ事業の改善に努めていく。																											
事後評価備考																												